

資料 3

令和5年度 認知症初期集中支援チーム活動報告（令和6年3月末時点）

◎訪問対象者の把握方法

家族等	24
ケアマネジャー	5
医療機関	1
関係機関	8

◎対象者の状況

ア 医療サービス、介護サービスを受けていない者、または中断している者 で以下のいずれかに該当する者		33
	（ア）認知症疾患の臨床診断を受けていない者	17
	（イ）継続的な医療サービスを受けていない者	12
	（ウ）適切な介護保険サービスに結びついていない者	8
	（エ）診断されたが介護サービスが中断している者	1
イ 医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状 が顕著なため、対応に苦慮している		5

令和5年度対象者	38	※終了者	25
令和4年度からの継続対象者	12		
令和5年度新規対象者	26		

性別	男性	11	女性	27
年齢	67 歳 ～ 93 歳 平均 79.18 歳			

地区	
東部地区	16
南部地区	7
西部地区	6
飯山綾歌地区	9
計	38

◎具体的活動

	年間回数	1 事例の平均回数
家庭訪問の実施	129	3.4
サポート医の同行訪問件数	10	—

電話対応の実施	779	20.5
チーム員会議の開催	29	—

◎チームでの訪問活動等における関係機関等との連携

かかりつけ医との連携	18
ケアマネジャーとの連携	10
介護サービス事業所との連携	7
他関係機関との連携	17

◎支援期間

把握から初回訪問までの平均日数	16.7 日
初期集中支援終了までの平均期間	7.0 ヶ月

◎支援終了後の状況

在宅	20	80.0%
入院	4	16.0%
施設	1	4.0%
死亡	0	0.0%
転出	0	0.0%

	全体		在宅継続のみ	
医療保険サービスの利用	17	68.0%	13	65.0%
介護保険サービスの利用	14	56.0%	10	50.0%
包括支援センターの支援継続	13	52.0%	13	65.0%
ケアマネ支援	10	40.0%	10	50.0%
ランチとの連携	2	8.0%	2	10.0%
後見人制度利用	1	4.0%	1	5.0%

※複数利用あり